

大阪市立大学地理学教室 同窓会会報 第23号

事務局 〒558-8585 大阪市住吉区杉本3丁目3番138号
大阪公立大学文学部地理学教室内
TEL (06)6605-2011/FAX (06)6605-2011 e-Mail: suganotaku@gmail.com
振込口座 00960-7-9642

大阪市立大学地理学教室同窓会第24回総会ご案内

新年早々の能登半島地震により被災された皆様ならびにそのご家族の皆様に心よりお見舞い申し上げます。皆様の安全と被災地の一日も早い復興を心よりお祈り申し上げます。対面授業の再開により、コロナ禍以前のキャンパスに戻るだけでなく、オンライン環境で授業や会議が実施されることも多く、新しい日常へと変化しています。平成12年の大阪市立大学地理学教室創立50周年を契機に設立された『大阪市立大学地理学教室同窓会』も、皆様のご尽力により活動24年目を迎えました。本同窓会の役割は、地理学の研究と教育の振興、地理学教室および現役学生等への支援など多岐に及びますが、最も大切なのは同窓生相互の交流と親睦にあるかと存じます。そのために、平成15年度より地理学教室恒例の年度末行事である卒論・修論発表会にあわせて年に1回の総会を開催しております。

今年度の第24回同窓会総会の開催については杉本キャンパス図書館（学術情報センター）10階の研究者交流室にて行います。第24回同窓会総会、予餞会・同窓会懇親会への参加を希望される方は、菅野（suganotaku@gmail.com）に御一報頂きますと幸いです。

当日の準備のため、必ず事前に参加のご連絡をお願い致します。杉本図書館に入館される際は、入館ゲートにて「地理学教室同窓会に参加」と一声お声掛けください。

記

1 第24回同窓会総会について

日時 2024年2月17日(土) 午後5時00分～
場所 大阪公立大学杉本図書館（学術情報センター）10階 研究者交流室
(JR 阪和線「杉本町」駅下車、東に徒歩7分；本館地区内)
次第 (1) 令和5年度 会務報告（会計報告を含む）について
(2) 今後の活動について

2 予餞会・同窓会懇親会について

日時 2024年2月17日(土) 午後5時45分～
場所 大阪公立大学杉本図書館（学術情報センター）1階 野のはなハウス
会費 5,000円（ただし令和4年度卒業・修了生は2,500円）

お願い 予餞会費につきましては、同封の振込み用紙の通信欄に明細をご記入の上、ご納入ください（メール

配信の方で予餞会・同窓会懇親会に参加される場合は、当日受付にてお支払ください。なお、予餞会にご参加の方は、会場準備の都合上、2月14日(水)までにお申し込みくださいますようお願い申し上げます。

問合わせ先

菅野 拓 (大阪公立大学文学部)

電話 : 06-6605-2011 (代) , e-mail : suganotaku@gmail.com 携帯 : 090-7090-9822

令和5年度 大阪公立大学地理学教室 卒論・修論発表会 プログラム

< 卒論発表 >

- 14:00 宝塚市中心部の雑然とした住宅地形成の経緯
— 華やかな都市イメージとの乖離に焦点をあてて — 岩石 ひなた
- 14:20 大阪府におけるキッチンカー事業の実態に関する研究
瀧下 祐紀名
- 休憩 (14:40~15:00)

< 修論発表 >

- 15:00 AED「公共アクセス化」施策の実態と評価
— 「堺市消防局まちかどAED」を事例に — 伊藤 航
- 15:40 大阪府を事例とした納骨堂の増加
— 供給主体に着目して — 本多 忠素
- 16:20 市街地改造事業地区における再々開発の難航についての事例研究
— 慣習・法制度・関係者の行動に着目して — 松田 千優
- 17:00 同窓会総会
- 17:45 予餞会・同窓会懇親会

令和5年度 卒業論文題目・要旨

宝塚市中心部の雑然とした住宅地形成の経緯―
華やかな都市イメージとの乖離に焦点をあてて

—

岩石 ひなた

本研究では、華やかな都市イメージとの乖離に焦点をあてて、近代の宝塚市中心部における雑然とした住宅地の形成過程を明らかにする。阪急電鉄による開発と、その他の民間デベロッパーによる開発に大きく二分して検討する。阪急電鉄は、宝塚市中心部を観光地として開発し、華やかな都市イメージが形成された。一方で、阪急電鉄以外の複数の民間デベロッパーによる住宅地開発が断片的に行われたことで、都市イメージと異なる雑然とした住宅地形成に繋がったと考えられる。

大阪府におけるキッチンカー事業の実態に関する研究

瀧下 祐紀名

本研究では大阪府におけるキッチンカー事業の実態を明らかにする。移動販売の歴史やキッチンカー事業の規定を整理し、都市の人口動態と事業者のアンケート調査を照らし合わせながら考察する。調査の結果、大阪府のキッチンカーは増加傾向にある。現在、飲食需要は決まった場所と時間に集中するため、キッチンカーの需要が高まっており、柔軟な飲食営業の形態として人気を誇っていることが明らかになった。しかし、実態を把握するには多角的な議論が必要であろう。

以上2編

令和5年度 修士論文題目・要旨

AED「公共アクセス化」施策の実態と評価―「堺市消防局まちかどAED」を事例に―

伊藤 航

AED(自動体外式除細動器)が普及して久しいが、目の前で人が倒れた際、はたして迅速に使用できるだろうか。本論文では、非医療従事者が公共の場所のAEDを使用するPAD(公共アクセス除細動)の救命効果が伸び悩む中、地域に設置されたAED情報を集約し活用する自治体の「公共アクセス化」施策に注目した。そして、行政とAEDを設置する事業者の双方の視点から施策の実態や効果を評価した。まず、自治体の消防局、衛生部局と併せて、AED設置施設の一例としてマンションに対し質問紙調査を実施した。その結果、自治体間で施策に関する情報が共有されず、またマンション管理者は施策の登録要件に難色を示すことが分かった。次に、GISを用いて施策に協力した場合の住民のAEDへのアクセシビリティを分析した。その結果、特に高層階では迅速にAEDにアクセスできる可能性が示された。施策への協力による定量的な効果の提示は、行政と事業者の双方にとって新たな検討材料となるだろう。

大阪府を事例とした納骨堂の増加―供給主体に着目して―

本多 忠素

「家」制度の解体や人口動態の変動、都市的生活様式の拡大等の社会変化に伴って、近年の葬送や墓制は変化しつつある。本研究では、そのなかでも納骨堂の「都心回帰」という空間的变化に着目し、墓地や納骨堂の供給主体の動向がどのように本現象を生じさせているのか、大阪府を研究対象地域として調査を実施した。調査の結果、仏教寺院や石材店、仏壇・仏具店は、それぞれ財政的苦境のなかで納骨堂の増加に積極的に関与しているケースが確認され、これが「都心回帰」の一面を構成していることがわかった。また、都市部に納骨堂が増えるなか、納骨堂の建立に対して生じる周辺住民の対立事例を取り上げた。納骨堂が忌避施設として捉えられるものであり、住民による対立が生じる納骨堂は事業性の経営である場合が多いことを示した。そして、対立が生じる事例では、問題化しない事例に比べ、受益圏/受苦圏の空間的「分離」度合いが大きいことを指摘した。

市街地改造事業地区における再々開発の難航についての事例研究―慣習・法制度・関係者の行動に着目して―

松田 千優

現在、市街地再開発事業地区の多くで建物の老朽化や機能の陳腐化から再開発ビルの建替えや「再々開発」が行われているが、市街地再開発事業以前に行われた市街地改造事業地区ではより古いビルが残存しながらも、なかなか再々開発が進まない状況がある。そこで、本研究は立地に注目し、諸主体への聞き取り調査から再々開発の検討の経緯を把握することで、再々開発の難航の要因を明らかにした。その結果、市街地改造事業が多く行われ、再開発ビルの老朽化が進む大都市圏都心部よりも、中心市街地の衰退による再開発ビルの経済的な衰退が先行した地方圏や大都市圏郊外でいち早く再々開発が行われてきたことが明らかになった。再々開発が難航する要因としては、大きく分けて「権利の複雑化」、「管理体制の複雑化」、「地区制限」、「どのような開発をするのか」の4つが存在し、再々開発に関わる主体間で思惑の違いが生まれ、難航している。

以上3編

☆同窓会だより

[地理学教室名誉教授の平野昌繁先生訃報]

地理学教室名誉教授の平野昌繁先生が永眠されました。ご冥福をお祈りするとともに、謹んでお知らせ申し上げます。

[地理学教室同窓会顧問の白石太良先生訃報]

長年にわたり地理学教室同窓会顧問を務めていただきました白石太良先生が永眠されました。ご冥福をお祈りするとともに、謹んでお知らせ申し上げます。

[第 23 回同窓会総会報告]

2023年2月18日(土)午前9時より卒論修論発表会が開催されました。卒業論文14篇の発表が行われ、活発な質疑応答がありました。引き続き、第23回同窓会総会が午後5時より開催され、同窓会・会則変更と会費変更の審議、前年度の会務報告等に関する報告が行われました。

[新キャンパスへの移転状況]

2022年4月から大阪市立大学と大阪府立大学が統合され大阪公立大学として開学しました。また、2025年後期に地理学教室は杉本キャンパスから森ノ宮キャンパスに移転する予定です。移転図書の設定など徐々に準備が進んでいます。



森之宮キャンパスの完成イメージ（西からの全景）

大阪公立大学HPより転載

<https://www.omu.ac.jp/about/campus/morinomiya/>

大阪市立大学地理学教室同窓会役員

(任期：令和5年3月～令和7年2月)

会 長 山野 正彦

顧 問 山岸 和一郎 石原 照敏 松下 任久

運営委員長 菅野 拓

運営委員 青木 翔平 大場 茂明 岸本 智洋 島崎 雄貴 立見 淳哉

会 計 木村 義成

会計監査 吉崎 広江 山田 理絵子

いずれも敬称略

*大阪公立大学地理学教室ではホームページを作成して、教室スタッフの紹介、講義概要、大学院生の研究報告などの様々な情報を発信しています。同窓会のページも設けておりますので、是非一度ご覧下さい。アドレスは、 <https://www.omu.ac.jp/lit/geo/> です。